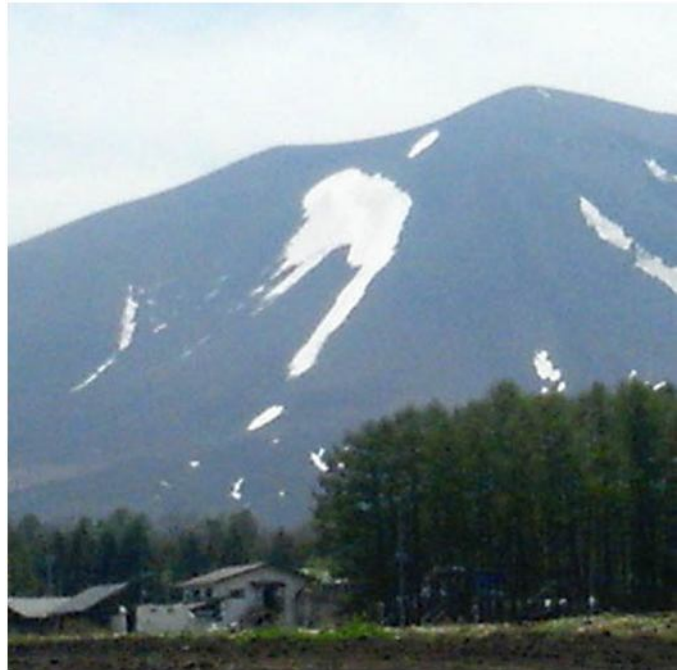


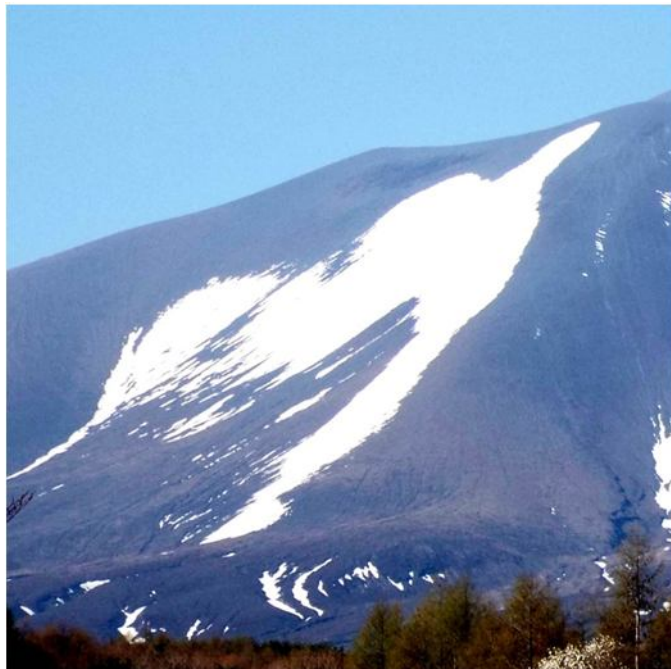
「浅間山のびろ〜ん」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

雪どけの時期に、各地の山に現れる残雪の模様――これをつくっているのは「雪」だから、気温が上がればどんどんとけて、その形も変わってゆく。浅間山の残雪でも最大のものが、北西の山肌に現れるものである。4月中旬には、大きな鳥の姿に見え、地元では「浅間の鳳凰」と呼ばれている。



「浅間山のびろ〜ん」 北軽井沢 / 5月上旬



「浅間の鳳凰」 北軽井沢押切場より。4月中旬。

山頂に向かって飛翔する、実に雄々しい鳳凰の姿である。ところが、5月に入ると山腹の雪どけが進み、鳳凰の形は、「情けなく」崩れてゆく。

